

# 令和6年度 第3回



第3号

令和7年3月7日

滋賀県立聾話学校

## 学校運営協議会だより

今年度最後

3月1日 第3回学校運営協議会がありました

### 今回の協議内容

- ◆高3生の進路状況
- ◆今年度の教育活動の報告  
ろうわバナナについて  
スクールタクシーを導入して
- ◆学校運営協議会の開始による  
教育的効果
- ◆学校評価を終えて

### 卒業生の進路 について

|      | 普通科 | 普通科・<br>ライフワークコース | 情報印刷科 | 産業技術科 |
|------|-----|-------------------|-------|-------|
| 進学   | 2   |                   | 1     |       |
| 企業就労 |     | 3                 | 2     |       |

※筑波技術大学産業技術部 産業情報科1 総合デザイン学科2  
◆パナソニック1、手原産業1、アキレス滋賀1、堅田電機1、学童保育所1

### ろうわバナナの 取り組みについて

### ろうわバナナの取り組みについて



「教育しが 1月号」を委員の方々に配布し、高等部での取り組みを  
宇野教諭から報告してもらいました。

### スクールタクシーを導入して

朝:8:00 学校発 帰:15:25 学校発

乗車人数 4月初1人 10月より2名

・タクシーゆえ、通行できる道が多くなり、往復の時間短縮が可能になった。  
そのことにより、遅れることなく授業が開始できるようになった。

・路線バスで草津駅まで迎えに行っていた昨年までと比べると、  
教員の負担軽減につながった。

・児童の欠席によるキャンセルや通学練習を行う児童の利用により、乗車人数や  
配車台数の確認、連絡調整など業務が複雑になり、混乱を招くこともあった。



### スクールタクシー を導入して

## 地域の方々からの協力を得た取組

## 学校運営協議会開始による教育的効果

### 幼稚部



湖南農業高校生と染め物



手原交番でパトカー乗車体験

### 中学部



学校運営協議会委員さんと芋掘り



### 高等部



栗東中学校での販売会



つぼみカフェさんへ野菜販売

## 学校評価アンケート結果

後日、学校ホームページに掲載する予定ですので、ご覧ください。

| 別紙様式17                                                                                                                                                                                                                          |                                                                      |                                                                                                            |           |         |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|----|
| 令和6年度 滋賀県立聾話学校 学校評価                                                                                                                                                                                                             |                                                                      |                                                                                                            |           | 学校番号    | 52 |
| 本年度の重点目標                                                                                                                                                                                                                        |                                                                      | 人生を主体的に切り拓く学びの確立<br>1 言語力・学力の向上を図り、自ら考え、学び、行動する力を育む。<br>2 集団活動を通して、社会性や豊かな心を育てる。<br>3 主体的にコミュニケーションする力を育む。 |           |         |    |
| 領 域                                                                                                                                                                                                                             | 重 点 評 価 項 目                                                          | 中間評価(10月)                                                                                                  | 総合評価 (3月) |         |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                      | 自己評価                                                                                                       | 自己評価      | 学校関係者評価 |    |
| 1 学校経営                                                                                                                                                                                                                          | 教育環境を整え、子どもたちが生き生きと活動できる学校づくりに努めている。                                 | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 学校と家庭・地域との連携、協力を密に行っている。                                             | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 基礎学力の定着を図った、丁寧な授業を行っている。                                             | B                                                                                                          | B         | B       |    |
| 2 教育課程・学習指導                                                                                                                                                                                                                     | 多様な子どもたちの障害の状況に応じた、授業の工夫・充実に努めている。                                   | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 必要に応じて情報手段を適切に用いて情報を得たり、整理・比較したりするなど、子どもたちの情報活用能力（ICT活用能力）の育成に努めている。 | B                                                                                                          | B         | B       |    |
| 3 生徒指導                                                                                                                                                                                                                          | 基本的な生活態度を育むための指導を日常的に行っている。                                          | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 子どもたちの生活の様子や実態に合わせた生徒指導を行っている。                                       | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | いじめを見逃さないよう、子どもたちの学校生活の状況把握および指導を行っている。                              | B                                                                                                          | B         | A       |    |
| 4 進路指導                                                                                                                                                                                                                          | 子どもたちが自己の能力・適性・興味についての理解を深められるように指導している。                             | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、必要な基礎となる能力や態度を育てている。                             | B                                                                                                          | B         | A       |    |
| 5 保健・安全指導                                                                                                                                                                                                                       | 子どもたち自らの健康や安全に注意できるよう指導している。                                         | B                                                                                                          | B         | A       |    |
| 6 人権教育                                                                                                                                                                                                                          | 幅広い人権学習を通して、子どもたちが人権意識を高められるよう努めている。                                 | B                                                                                                          | B         | A       |    |
| 7 環境教育                                                                                                                                                                                                                          | 子どもたちが環境保全を意識する指導を行っている。（ごみの分別、廃棄野菜の堆肥化など）                           | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 校内の清掃活動を丁寧に行うよう指導している。                                               | B                                                                                                          | B         | A       |    |
| 8 交流及び共同学習                                                                                                                                                                                                                      | 学校は、インクルーシブな社会の構築につながるように、障害者理解教育を推進することに努めている。                      | B                                                                                                          | B         | B       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 地域社会の中で豊かに生きることができるよう、地域の同世代の子どもや人々の交流等積極的に取り組みを進めている。               | B                                                                                                          | B         | A       |    |
| 9 教職員の現職教育                                                                                                                                                                                                                      | 聴覚障害教育校としての責務と教育内容を明らかにし、日々の教育に活かしている。                               | B                                                                                                          | B         | B       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 日々の教育実践について検証・記録を行ない、聴覚障害教育における専門性を高めることに努めている。                      | B                                                                                                          | B         | B       |    |
| 10 センターの機能の発揮                                                                                                                                                                                                                   | 聴覚特別支援教育のセンターの機能としての役割（0歳からの教育相談・聴能・通級指導教室・その他の事業など）を果たしている。         | B                                                                                                          | B         | B       |    |
| 11 その他学校の取組み                                                                                                                                                                                                                    | 自校の教育活動を地域に積極的に公開している。                                               | B                                                                                                          | B         | B       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 集団生活を通して子どもたちの社会性や豊かな心を育てている。                                        | B                                                                                                          | B         | A       |    |
|                                                                                                                                                                                                                                 | 子どもたちの伝えたい気持ちや主体的なコミュニケーション力を育てている。                                  | B                                                                                                          | B         | B       |    |
| ・評価については、A B C D の4段階で示す。                                                                                                                                                                                                       |                                                                      |                                                                                                            |           |         |    |
| ・生徒指導の欄に、いじめの項目を入れること。また、教職員のICT活用指導力の向上、キャリア教育に関する項目について、任意の領域に含めること。                                                                                                                                                          |                                                                      |                                                                                                            |           |         |    |
| ・自己評価：A B C D の基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80％以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60％以上80％未満）はB、あまり達成できていない場合（達成度40％以上60％未満）はC、達成できていない場合（達成度40％未満）はDとする。ただし、アンケートの結果等を機械的にA B C D の評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。 |                                                                      |                                                                                                            |           |         |    |





## 委員の方々から出された意見



### 1. 本年度の教育活動について

#### (1) ろうわバナナの取組

- ・ろうわバナナを育てる過程で生徒が仲間意識を育んできたことは、教育上の効果という点で素晴らしいと考える。
- ・ろうわバナナの取組には大変関心があり、我々民生委員の間でも話題になっていた。ぜひとも継続して取り組んでもらいたい。

#### (2) スクールタクシー

- ・バスに比べて走行時間の短縮や教員の時間的な負担軽減といった利便性の向上に加え、コスト縮減にもつながっており、タクシーへの変更が改善につながっているのではないかと考える。

#### (3) 学校運営協議会の開始による本校への教育的効果

- ・校内だけでなく、校外での教育活動も大切なことと考える。我々としてもできる限りの協力をしていきたい。今後とも、外部とのコミュニケーションを取り連携を強化しながら学校運営に努めてほしい。

### 2. 学校評価について

- ・全般的に自己評価が少し厳しいのではないかと感じる。
- ・自己評価と外部評価とで乖離のある部分をしっかりと分析して対策を立てていくことで、より良い運営につながっていくのではないかと考える。
- ・ろうわバナナの取組は大変手間がかかるにも関わらず、個々の生徒に応じたきめ細かな教育をされている。ろうわバナナに限らず、生徒を本当にしっかりと見ていただいていることは素晴らしいことであり、発信に値する。
- ・情報発信を課題として挙げられているが、栗東市でもこのことは課題であり、職員への研修等を行っている。誰に向けてどういう情報を発信するかを明確にすることが重要と考える
- ・栗東市の民生委員の中でも聾話学校が市内にあることを知らない方がいる。もっと学校の取組を知ってもらい、連携が進むよう取り組んでいきたい。栗東市にも広報で取り上げていただければ市民がもっと学校を知ることにつながるし、併せて学校からも発信を強化いただければ、外部との連携が一層強化されると考える。

委員の皆さんからたくさんの心強いお言葉をいただきました。学校として、次年度の教育活動に生かしていけるよう校内で共有し、頑張っていきたいと思います。

委員の皆様、1年間ありがとうございました。



学校運営協議会の委員の方々、ありがとうございました。任期は1年ですので、次年度改めてご依頼申し上げます。今後とも本校の魅力ある学校づくりに向けてお力添えをお願いいたします。

学校ホームページをのぞいてね。  
バナナの生長の続編UP↑↑

### ろうわ SDGs

2025年3月1日(土)  
高等部(理科授業 宇野)

#### 「ろうわバナナに奇跡が…!」

寒い冬から、ようやく春の訪れをほのかに感じられる季節となりました。この聖路学園にも、数週間前までは雪の積る時期がありました。2月26日現在、本校のバナナの葉や茎はすっかり枯れてしまい、茶色く、乾縮した姿になっていました。



ところが上をよく見ると…



“葉”が出てきているではありませんか!! 発見した生徒も教員も、まさかの状況に驚きました。

3月1日、本校では高等部の卒業式が行われました。この開校は、これまで仲間に感謝に胸を膨らませてきた3年生へ、ろうわバナナからのお祝いメッセージのように贈りました。3年生と隣り合う最後の数日間でしたが、生徒たちにとっては、その最後の日まで、思い出に残る特別な経験になったことと思います。